

このページでは[大宮南部浄化センター・みぬま見聞館](#)のトピックスを紹介いたします。

シジュウカラのメッセージ（5月に自然庭園で観察できる動植物について）

新緑の時期を迎えた今月は、「ツピツピツピツピ」と、きっとどこかで聞いたことのある鳴き声の「シジュウカラ」についてお話をさせていただきます。

シジュウカラは、スズメ目・シジュウカラ科に属し、全長14.5センチメートル、体重14グラム位のスズメ程の大きさで、何と言っても「黒いネクタイと白いほっぺた」が特長のお洒落な印象の鳥です。

シジュウカラのオスとメスの識別は、太いネクタイを持っているのがオス、細いネクタイを持つのがメスになります。

みぬま見聞館の自然庭園では毎日のように出会えますし、日本中の住宅地や公園、自然の多い場所のほか、市街地でも見つけることができます。

「ツピツピツピツピ」と、よく響くさえずりからもシジュウカラと分かり、その声をたどれば容易に見つけることができます。

そのシジュウカラのさえずりについて、京都大学の研究で、現在いろいろなことが分かってきました。

シジュウカラといえば「ツピツピツピツピ」という鳴き声の特長ですが、その他にもいろいろな声を発しています。

例えば、仲間と遠く離れたときや木の実などの餌を見つけたときなどは「ヂヂヂヂ」と鳴き、「集まれ！」という音声コミュニケーションとして使われています。

また天敵のカラスが巣穴に近づくと親鳥は「チカチカ」と鳴き、その声を聞いたヒナたちは巣の中で体勢を低くしうづくまることで、巣穴の入り口から差し込まれるカラスの嘴が届かないようにして身を守ります。

アオダイショウを見つけた親鳥が「ジャージャー」と鳴くと、ヒナたちは一斉に巣から飛び出してアオダイショウの侵入前に巣から脱出するという行動が、これまでに確認されています。このような行動は、シジュウカラでしか確認されていない貴重な行動だそうです。

その他にも、「スィー」という声は猛禽類が上空に現れたときに発せられ、この声を聞くと群れは枝の密集した藪に逃げ込みじっと身を伏せます。

「ピーツピ」という声には、首を左右に振りながら周囲を確認する反応があることから、「警戒しろ！」という意味でつかわれているようです。

これまで単語を組み合わせ文を作る能力は、人間だけの進化した言語能力とされてきましたが、シジュウカラが異なる意味を持つ鳴き声を規則に従って組み合わせ、より複雑なメッセージを作っていることも明らかになったそうです。まさに驚きの能力ですね。

自然庭園でシジュウカラのさえずりを聞き、その意味を想像しながら観察してみたいかたがでしょうか。皆さんのお越しをお待ちしています。



シジュウカラ

黒いネクタイと白いほっぺた、鳴き声も特徴的です



シジュウカラ

正面から捉えた姿はネクタイがクッキリ見えます



アカハラ

この冬から春まで自然庭園でよく見られています



ツミ

最近、自然庭園でよく見かけます



コデマリ

小さな花がたくさん集まりキレイです



スイカズラ

可憐な花を咲かせます

お知らせ